

〔第123回銀行業務検定試験〕

「法務2級」団体最優秀賞受賞・「法務3級」団体優秀賞受賞

## 株式会社 整理回収機構(RCC)

「公的役割の担い手として、誠実・公正かつ効率的な業務遂行のために」

国民から負託された公的使命を適正かつ迅速に果たし、  
金融システムの円滑化と金融市場の安定化に寄与する

今回は、去る2012年10月28日に実施された第123回銀行業務検定試験「法務2級」において団体最優秀賞を受賞、「法務3級」において団体優秀賞を受賞されました株式会社整理回収機構(RCC)へお伺いしました。

株式会社整理回収機構(RCC)は、平成8年7月に設立された株式会社住宅金融債権管理機構を前身とし、平成11年4月の整理回収銀行との合併により、現在の組織が発足しました。同機構は、預金保険機構を株主とし、資本金120億円、役職員数397名で組織されている公的金融機関です(平成25年1月1日現在)。

整理回収機構では、発足以来、旧住専各社から譲り受けた債権等の回収業務のほか、破たん金融機関、健全金融機関等からの不良債権等の買取り・回収業務、事業再生支援業務等を行ってきました。

さらに、平成23年10月の改正預金保険法の施行により、より柔軟で効率的な金融機関の破たん処理を可能とするための承継銀行機能及び反社会的勢力に対する債権等の「特定回収困難債権」の買取り・回収機能が付与されました。

今回、快く取材に応じてくださいましたのは、総務人事部能力開発室室長の宇都浩志さん、調査役木下浩三さん、猪股千津さんです。



▲整理回収機構本社(東京千代田区新日石ビル内)

### ●団体最優秀賞・団体優秀賞の受賞について

平成24年10月28日に実施された第123回銀行業務検定試験「法務2級」において、整理回収機構は合格率64.09%で1位、平均点52.50点で1位、合格者数116名で2位の成績で団体最優秀賞を受賞されました。また、個人賞においても「法務2級」では4名(男性2名、女性2名)が、団体優秀賞を受賞された「法務3級」においては4名(男性2名、女性2名)が個人優秀賞を受賞されました。

今回の検定試験において、団体最優秀賞、団体優秀賞を受賞されたことについて、また、同時に、両種目において4名ずつ個人優秀賞を受賞されたことについてのご感想をお伺いしましたところ、宇都さんは、『今回初めて全社を挙げて受験に取り組んだところ、職員1人ひとりの努力の結果として、このような高い成績を残すことができたことを大変嬉しく思っております』とお話くださいました。

### ●新規業務への対応強化と銀行業務検定試験の活用

整理回収機構での銀行業務検定試験の活用方法についてお伺いしました。

宇都さんは、『当社では、平成23年10月の改正預金保険法の施行に伴い、承継銀行業務と、特定回収困難債権の買取り・回収機能が新たな業務に加わったことから、銀行業務に関する知識の充実に対する意識が高まりました。このため、職員に対しては、5月中旬から7月末までの期間に社内講師を中心に実務研修会として「金融法務セミナー」を複数回開催し、職員が銀行業務の知識を幅広く学ぶことができるようプログラムを組みました。検定試験については、従来は任意受験としていましたが、今回、この研修会の総仕上げの一環として各自の業務知識の再確認をするものと位置付け、総務人事部として受験を奨励していくことになりました。法務種目以外については、今後財務種目、税務種目等の受験も奨励していきたい』とお話くださいました。

### ●銀行業務検定試験の学習法

今回、受験された職員の方の主な学習方法についてお伺いしましたところ、職員の方々が集まって、就業時間後に自主的な勉強会を開き共同学習をされていたそうです。受験される職員同士で出題し合い、論点整理を一緒に行うことで、各自の苦手分野を克服されたとのことでした。

なお、総務人事部では、受験料の負担と合格者には参考図書購入費程度のささやかな奨励金を支給することで受験者をサポートされたとのことでした。

### ●整理回収機構が目指す職員像

整理回収機構が目指す人材育成・職員像についてお伺いしました。

整理回収機構は、基本理念として「預金保険機構の協定銀行として、国民から負託された公的な使命を適正かつ迅速に果たし、金融システムの円滑化と金融市場の安定化に寄与する」ことを掲げるとともに、経営指針として、①公的役割の担い手としての使命を自覚し、誠実・公正かつ効率的な業務遂行の確保、②金融資産の適正な管理・回収及び事業再生支援業務等を通じた地域経済の活性化等付加価値の創造、③承継銀行機能への的確な対応を掲げています。

宇都さんは、『基本理念と経営指針にもとづいて業務を遂行していくため、職員1人ひとりが公的使命を負っていることを自覚し、複数の専門分野に通じたプロフェッショナルとならなければなりません。社内外から評価される人材を育成していきたいと考えております』とお話くださいました。

### ●銀行業務検定試験へのご要望など

最後に、検定試験へのご要望についてお伺いしましたところ、法務・財務・税務の各種目を含め、より高い専門知識を確認できる試験種目をラインナップとして充実させてほしいとおっしゃっていました。

(お忙しいなか、取材に真摯にご対応くださいました宇都さん、木下さん、猪股さんに心から感謝申し上げます)



▲総務人事部 木下浩三氏(左)、宇都浩志氏(中央)、猪股千津氏(右)